



ICHITOKU

川越市立特別支援学校 学校だより

令和8年7月22日発行 第5号

学校教育目標『ひとりだちする生徒』

TEL049-222-2753 Fax049-229-1231

夏休みこそ「ひとりだち」

校長 遠山 知子

The road to hitoridachi

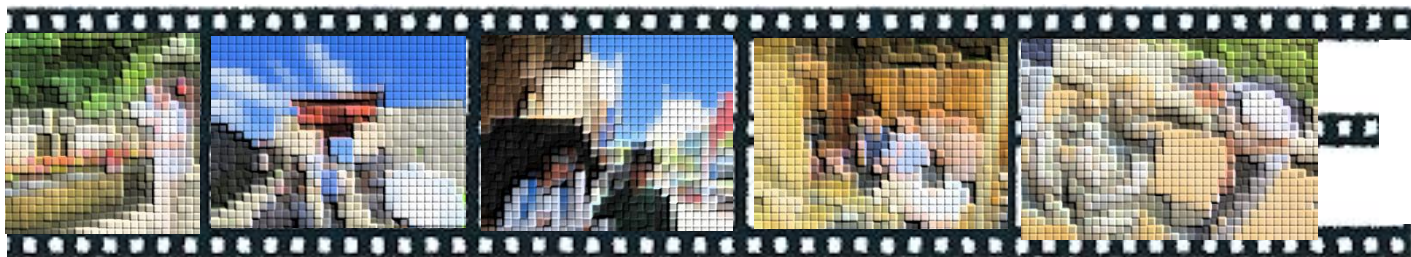
7月は、たくさん生徒たちの成長を実感することができました。

3年生の修学旅行では、楽しい思い出をつくるだけでなく、訪れた先々での礼儀正しいあいさつや思いやりのある行動に現地の方から温かいお言葉をいただき、嬉しくなりました。

2年生の宿泊学習、1年生の校外学習では、互いに声をかけ合いながら協力して活動する姿が見られました。自分の役割を果たそうとする姿や友達を気遣う姿から、1学期に積み重ねてきた学びが確かな力となって育っていると感じました。

明日から39日間の夏休みが始まります。夏休みは、自分で考え、自分で行動する力を育てる絶好の機会です。毎日の生活を整えること、継続した手伝いをする、時間を意識して行動すること、自分で楽しみを見つけることなど、「ひとりだち」に向けた力は、学校だけではなく、地域や家庭でこそ育まれると思います。一人ひとりが、それぞれの「ひとりだち」におけた充実した生活を自ら送り、2学期、元気な笑顔で会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様には、一学期、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



夏休みの「ひとりだちへの道」

本年度の合言葉「ふやす・かためる・つなぐ」

7月は学んだことを次の活動につなぐ

仲間や出会った人と心をつなぐ月でした。

◎校外での活動で仲間と協力していました。

◎出会った方々に明るく挨拶ができました。

◎時間を守って行動できました。

夏休みの目標は「ふやす・かためる・つなぐ」

そのための重点

夏休みにしかできない経験を **ふやす**

毎日の積み重ねで力を **かためる**

人とのかかわりを通して学びを **つなぐ**



たくさんの葉と実がついてきました。→

